

# 令和3年度 学力向上を図るための授業改善推進プラン

教科 : 国語

## Research ⇒ 現状分析・課題把握

**1年生**・・【授業、単元テスト、小テスト、実技テスト、定期考査など】⇒  
自分の意見を相手に伝えようとする姿勢は多くみられるが、相手にわかりやすいように流れを組み立て、自分の意見を展開していくことが十分にできないのが課題である。漢字練習には熱心に取り組んでおり学ぶ意欲は高い。説明的文章では接続詞の役割を理解できていないため、文の前後のつながりを把握することや筆者の主張を探し出すことが苦手である。

**2年生**・・【授業、単元テスト、小テスト、実技テスト、定期考査など】⇒  
自分の意見を相手に伝えるだけでなく、論理的な思考で話し合い活動ができています。漢字練習には熱心に取り組んでおり学ぶ意欲は高い。ただ、漢字小テストの正答率の平均は7割に満たしておらず漢字の学習が定着していないことが課題である。また、文法事項では、活用のある自立語の活用の種類や活用表が定着しておらず、定期考査でも正答率の平均が4割と低い結果である。

**3年生**・・【授業、単元テスト、小テスト、実技テスト、定期考査など】⇒  
文学的文章の読解に関しては登場人物の様子、心情の正答率8割と高く、良い状態である。説明的文章の読解でも記述問題の正答率が上がってきているが、答えるために必要なキーワードをすべて探したり、文章の不要な部分を削ったりすることがまだ不十分である。古典を含む文章において、表現の内容を問う問題の正答率が4割と低いのが課題である。また、漢字の書き取りと文法事項を全般的に苦手としている。特に、品詞の識別や活用のある自立語の応用問題の正答率は全体の5割と低い結果が出ている。タブレット等を使い、発表用の資料を作成する能力は全体的に高い。

## Plan ⇒ 課題解決のための主な取り組み(計画)

### 《Ⅰ 基礎的・基本的な知識・技能の『習得』》

**1年生**・・漢字小テスト数回ごとにまとめテストを行い、繰り返し学習させる。学期の終わりにまとめテストを行うことで、学期中にどのような漢字を学習して、どの漢字が身に付いていないのかを確認させる。

**2年生**・・漢字の定着は小テストの結果により再テストを行い、何度も取り組ませる。また学期末にはまとめテストを行い、再度確認をさせる。文法事項についてはeライブラリで練習問題に取り組ませる。またeライブラリの確認テスト結果から作成される復習問題で苦手な単元を克服させる。

**3年生**・・漢字小テスト数回ごとにまとめテストを行い、繰り返し学習させる。学期の終わりにまとめテストを行うことで、学期中にどのような漢字を学習して、どの漢字が身に付いていないのかを確認させる。文法事項についても授業内で繰り返し復習し、基礎をしっかりと定着させる。

### 《Ⅱ 思考力・判断力・表現力等の『活用』する力の育成》

**1年生**・・説明的文章や文学的文章の中で使われている接続詞の役割を学習し、文の前後の読み取りを行う。また、単元の最後に文章全体の構成を確認して、筆者の主張・まとめを探し出せるようにする。

**2年生**・・ステップチャートやイメージマップといった思考ツールを活用し、自分の意見をより追求させ、思考力を身に付けさせる。さらに、その自分の考えを相手に詳しく説明できるようにマニュアルを作成し、表現力を向上させる。

**3年生**・・教科書を読みこみ、本文中で繰り返し使われているキーワードや似た表現に注目させる。「国語の学習」の問題を活用して、筆者の主張・本文のまとめを探し出す力を強化する。

### 《Ⅲ『学ぶ意欲や態度』の向上、学習習慣の定着》

**1年生**・・タブレットを活用した発表などを好きな生徒が多く、今後もそういった単元を取り扱うことで生徒の学ぶ意欲を向上させる。また、その発展として話し合い活動なども行っていく。

**2年生**・・タブレットを活用した授業を展開し、生徒の学ぶ意欲を向上させる。意見交換であってもコラボノートを活用し、積極的にでない生徒も話し合いに参加できるような環境を整えていく。

**3年生**・・定期考査毎に振り返りを行わせ、自分がどういったミスをしてしまったのか、どういう問題ができていたのか確認する。自身の課題を把握し、次に繋げることで学習意欲を高めさせる。